

第15号

市自公連だより



筑紫野市自治公民館連絡協議会

■発行元 筑紫野市自公連事務局 ■〒818-0057 福岡県筑紫野市二日市南1-9-3

■発行責任者 会長 中野二郎 生涯学習センター内 ☎ 092-918-3535

役員のことば



私が自公連事務局長に就任して早や1年が経とうとしています。

5月の自公連総会から始まり、6月自公連館長主事等研修会、8月九州地区公民館研究大会、9月市内公民館等研修ツアーフィルム第1回（美しが丘北公民館）、9月自公連推進大会、11月市内公民館等研修ツアーフィルム第2回（牛島公民館・筑紫南コミュニティ運営協議会）。

12月～2月までの各地区公民館交流会等も開催されてきました。また参加できなかった研修会等は研修資料・動画配信等での情報をいただきました。多くの研修会に参加してまいりました。

研修会に参加して印象に残ったのは、大きな公民館の発表ではなく小さな公民館の発表で創意工夫をして他の公民館にはない独自の活動をされている発表でした。住民は少なくお金もない中でいろいろと工夫をされての活動等で頭が下がる思いです。講演会を聞くことは、私自身の自己啓発の場でもありました。

今後はITを活用しての自公連活動、公民館活動に励んで地区の人との結びつきをどのようにして強めるか、公民館としてのネットワークをどのようにして作るか、災害時の対応についてなど問題は山積みです。自公連での研修会等で学び、公民館活動に役立てていきたいと思います。

自公連は今後も引き続き、各地区的コミ協、公民館と連携し皆様のご支援・ご提案を頂きながらこれからも様々な学びの場を提供して、皆様と共に成長していきたいと考えています。

今後ともよろしくお願ひいたします。

筑紫野市自治公民館連絡協議会事務局長

森政之（美しが丘南自治会長）

筑紫コミセン出前講座 in 桜台公民館



交



流

日頃から【集う】【学ぶ】【結ぶ】をテーマにしている桜台公民館で11月9日（木）筑紫コミセンとの協働事業「コミセン出前講座」を開設しました。

桜台地区の方々と筑紫コミセンが募った他地区の方々と和やかに交流が図れるように、班を編成し、作品発表、茶話会を行いました。

当公民館を初めて訪れた方もおり、この場所や活動を知つてもらうよい機会となりました。



初めての講師経験で、不安と緊張でいっぱいでしたが皆様の楽しそうな様子や笑顔に癒されました。皆様の作品を見て私自身も勉強になりました

今回の講師は、筑紫地区でストーンアートをはじめ、折り紙や絵手紙・消しゴムハンコなど多彩な趣味をお持ちの山形とも子さんです。

「初めての講師経験で、不安と緊張でいっぱいでしたが皆様の楽しそうな様子や笑顔に癒されました。皆様の作品を見て私自身も勉強になりましたし、楽しい時間を共有出来たことは大切な経験となりました」



御笠地区自公連公民館交流会 東吉木公民館（令和5年12月23日）

～宝満山と宝満川が育む緑ゆたかな故郷へ～

東吉木区には福岡県農林業総合試験場、福岡県農業大学校、JA福岡研修センター等があり、昭和52年～53年にかけ圃場整備がなされ田んぼは碁盤の目の様に整備され広大な食料生産地となっております。吉木・阿志岐の平野には万葉集にも詠まれている蘆城駅家（あしきのうまや）跡などの遺跡が広く分布しており、総称して「御笠遺跡群」と呼ばれています。東吉木区は、世帯数659世帯、人口1562名です。

公民館は平成15年3月に建て替えられ築約20年が経過しております。令和5年度公民館事業としては、「高良神社の神事」、「夏祭り」、「東吉木ふるさと守り隊」で区内の農道や水路等の草刈り、農道沿いの法面・空き地に花の植栽を行っております。「子ども育成会」の各種活動、「シニアクラブ」（老人クラブ）の敬老祝賀会なども開催しました。その他に、筑紫野太宰府消防本部部署員による防火、消火の説明、小型消火器による実施訓練を行いました。又、令和5年度始めた事業としては「東吉木くつろぎサロン」を立ち上げ地域高齢者の仲間づくりや、健康づくりの活動を通じて高齢者の方々が、いきいきとした生活を送る事を目的としております。

ここ3年間は新型コロナ感染拡大等により公民館内外での活動は、中止、延期を余儀なくされました。が今年に入り感染拡大も大分収まり、公民館事業も少しずつではありますが4年ぶりに以前の活動状況に戻りつつありますが、今後の課題として次のような事があげられます。

- ①コロナ禍以前の活動状況に戻す。
- ②以前の活動を工夫し、多世代が集う公民館活動をする。
- ③区全体の環境づくり（挨拶運動、自然環境の自主的整備の更なる強化等）

住み良く、住みやすく、色々な事に希望の持てる地域づくりが必要と考えております。



山家地区自公連公民館交流会（令和6年1月13日）

「認知症を学び地域で支えよう」～認知症サポーター養成講座～

○日 時 令和6年1月13日（土）10時～11時45分

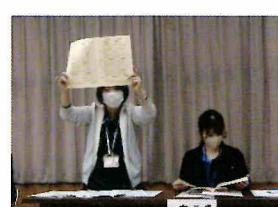
○場 所 山家コミュニティセンター 大研修室

○参加人数 山家各地区から71名

○講 師 筑紫野市地域包括支援センターちくしの荘

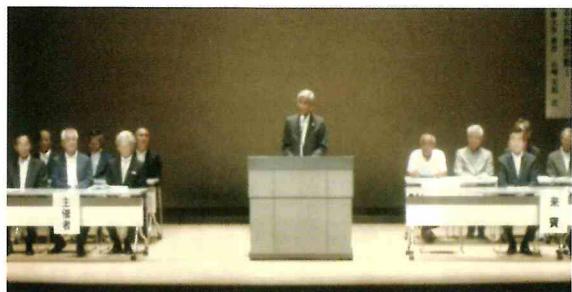
○内 容 認知症を理解する 認知症の人と接するときの心がまえ

認知症とは脳の症状（障害）からおこるものであり、誰でも発症する可能性がある脳の病気であること、また認知症の早期の発見・診断・治療はその後の認知症の人の生活を左右する非常に重要な対策であることを学びました。また講話の中のビデオを通して、認知症の人との接し方や心がまえ（驚かせない・急がせない・自尊心を傷つけない）なども知ることができました。実際に第一線で活躍されている講師の方の体験などをお聴かせ頂き心に残る講話でした。今回の講話で学んだことをそれぞれの地区で実践できるように努力していこうと思います。



令和5年度筑紫野市自治公民館連絡協議会「推進大会」

大会テーマ 「持続可能な地域福祉と公民館活動の推進」 ～人づくり・つながりづくり・地域づくり～



9月30日（土）コロナ感染が5類移行後4年振りに生涯学習センターで、公民館、コミュニティ関係者が一堂に会し推進大会が開催されました。2階ホワイエで公民館活動の様子がパネル展示され共有することが出来ました。

特に目を引いたものは、みかさ台公民館のスマホを使ってのLINEによる公民館活動（主催講座・サークル案内等）、自治会活動（回覧板情報・地域交流等）の連絡が発信されていることでした。市自公連の中野会長から「自治公民館は地域に密着した重要な拠点のひとつとして、その重要性はますます増大しているので、さらに地域コミュニティの発展に寄与できるよう邁進していきたい」となど趣旨が述べられました。

基調講演では、【地域福祉・基本のき】をテーマに筑紫女学園大学教授の山崎康則氏から令和時代は地域共生の実現に向けての改革と施策が推進されていくなどの話がありました。研修会ではテーマのもとに事例発表が実施されました。

●山家7区公民館 「山家は一つ7区も一つ！公民館を中心とした福祉の町づくり」が月毎の活動をもとに報告がありました。また子どもや若い人の参加が重要であるとのことでした。

●下阿志岐公民館 安全で安心な地域のために館内外活動により地域住民の交流が図られ、少子高齢化が進む状況において安全で安心な地域を守ることの必要性を強調され、今後もさらに館内外活動を積極的に進める話がありました。

令和元年以来久しぶりに、各地区公民館・各コミュニティ運営協議会の活動内容が紹介され見学者からは「各公民館の特徴が出ていて、展示方法にも地区色があってよかったです」「各区の役員の方々を中心に人々のつながりと熱意が伝わってくる内容でした」など非常に参考になったという意見がたくさん出てきました。

筑紫地区 常松公民館主事 永吉孝廣



各地区紹介パネル展示



ホワイエ



二日市地区



御笠地区



筑紫南地区



二日市東地区



筑紫地区



山家地区



山口地区

2023.11.14 AM

第2弾 公民館等研修ツアー

牛島公民館

牛島公民館は、外観は温かみのある雰囲気があり敷地内は広い駐車場や庭園もあり利用者の利便性を考慮していることが伺えました。公民館では様々な活動が行われており、子供向けの習い事やスポーツ教室・地域の高齢者に向けた健康体操などの幅広い年齢層に対応した活動が行われています。又、地域イベントや交流会も盛んに開催されており、住民同士のコミュニケーションを促進しています。

また、公民館の運営・管理をさわやかクラブ（老人クラブ）主体の11名体制で平日9時から15時まで管理されています。若者や女性の参加を積極的に促して活動されており、地域の人が集まり一緒に楽しむことができる場所となっています。

地域の人々が笑顔で交流し健康に過ごすことを支援する役割を果たしている姿に感銘を受けました。

牛島公民館の活動の取り組みを手本に地域の自治公民館活動に生かしていきたいと思います。

山口地区 立明寺公民館主事 酒井正春



2023.11.14 PM

第3弾 公民館等研修ツアー

筑紫南コミュニティ運営協議会

令和5年11月14日（火）筑紫南コミュニティセンターにおいて、午後の部が開催されました。当日は好天にも恵まれ市内各所の行政区等から参加がありました。

本年度第3弾目となる市内自治公民館等研修ツアーは、筑紫南地域の7つの行政区を統括する筑紫南コミュニティ運営協議会の活動紹介と活発な意見交換の交流の場となりました。今回、主題にあげられた「笑顔あふれるまちづくりをめざして」の紹介は、筑紫南コミュニティ運営協議会の活動として、まちづくりのスローガン「スマイルタウン筑紫南」から始まり、地域7行政区の紹介、組織図の説明、コミュニティの基本原則を達成するための三つの視点である「1. 地域課題の解決 2. 人材育成 3. 地域での人間関係づくり」の相互作用により、活動が今後とも継続されるものと思われました。その主な活動は、本部による年間イベントや5つの部会が活動計画とその実行による目的達成のための先の三つの視点をふまえて、それぞれの部会の担当者より活動報告がありました。また、「サポートの会」という組織があり、地域の人が自分の出来ることを地域の人にお手伝いをするという登録制の取り組みもされておられ、これは他のコミュニティの活動にも参考になるのではないかと思われました。結びにこの日の研修のためにいろいろ準備された筑紫南コミュニティ運営協議会関係者の皆様ありがとうございました。

二日市地区 天拝坂公民館主事 尾上登士夫

